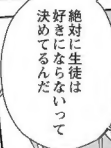
裏ドS男子
淫らな義姉のしつけ方
1
presented by
えい吉
eikichi

第1話

ふん♪
ふん♪
ぱぁ
教師2年目でこんなに幸せでいいのかしら？
まさか愛しの平野先生と同じクラスを受け持つことになれるなんて～
きゃあ
きゃあ

スッ
木下先生はクラスを受け持つの初めてだよね
きゅっ
ギシッ
わからない事は何でも聞いてくれていいから
手取り足取り教えてあげるよ
わぁっ
もちろん…
課外授業も大歓迎だよ
あっ だめ
するっ
ムッ
そんな…
平野先生ったら
その展開も大歓迎なんだけどな!!
ごめんね

あら？
妄想じゃなくて本当に平野先生の声が…
きょろ
きょろ
ハッ
!?
でもっ
はっ
いた！
好意を持って貰えることは嬉しいけど…
僕は教師で君は生徒
わかるね？

告白現場!?
仮に付き合っても
一時の感情で互いの人生を棒に振る立場同士…
僕には君達の未来を壊すことなんて出来ないから
ぽん
ぽん
絶対に生徒は好きにならないって決めてるんだ
だから…
……

ごめんね

おっ

すみませんでした!

バタ

バタ

バタ

……

ぶら

ばっ

はぁっ

やっぱ平野先生もてるんだなぁ

ぽすっ

そりゃみんなに優しいもんね

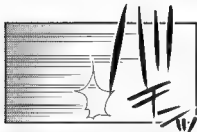
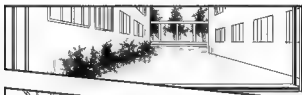
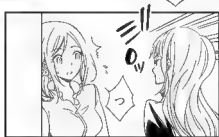
生徒と先生って
やっぱダメなん
だなぁ…
でも…
私は生徒じゃ
ないから
大丈夫だけど…
──って
何で私まで
しんみりしてんの！
これから新学期
なんだから
明るくいかなくちゃ！

キーンコーン
今日から皆さんの副担任になる木下陽菜です
去年も現国で授業を受け持っていたから知ってる人も多いとは思うけど…
ひなちゃーん!
恋人は～?
名前はいいからスリーサイズ教えてよ～
彼氏募集中ならオレ立候補しちゃおうかな
ヘコ

かあっ
はぁ?!
彼氏とか いいから
スリーサイズ 早く〜
えっ えっ そんな…
どうしようっ どうしたら…
チラッ
はぁ
仕方ない奴らだなぁ…
!
上から 89・73・91
ん?

あれ？
73じゃ
ウエスト
太くね？
……
ってそれ
お前のだろ
男のなんて
誰も聞いて
ねぇよ!!
違いねぇ！
喚いたって
先生どころか
お前は女子に
だって触らせて
もらえねぇんだ
俺で我慢
しとけよ
きゃあ
きゃあ
はっ
そうだな
じゃあ今夜の
おかずは…
ぽっ
ってどんな
イケメンだろうと
男でぬけるかー!!
ど
げらげら

あれ…？
助けてくれた？
あの子って確か…
はぁ〜疲れた〜
初日からこんなんで大丈夫かしら
バリキンッ
!?
なっ何の音…？

いって…
!!
ばっ
いい加減にして！
誰か知らないけど身代わりなんてまっぴらよ
ばっ
つ
はっ
そうだ！
菅原春兎
1年の時から女子生徒にとても人気のある子だわ
どうりでカッコいいわけだ…

女子との噂もよく耳にしたし
女性の扱いは上手そうなのに…
ザッ
あっ
あの…
ほっぺ大丈夫？
!!
ばっ
きゃっ
すっ
菅原くん…？
責任取ってくれよ
あんたのせいだ
んぅ?!
ええ――っ!?

やめてっ
ぱ
んっ
はっ
ぷはっ
ちゅ
ちゅく
やだっ
クラクラ
する…
はっ
あたしのせいって
どういう事？
はぁっ
ぬるっ
ゾク
あんたが
好きなんだ
?!
っ
むぎゅ
去年の
入学式の時
桜の木の下で
一目惚れ
だった

君も新入生？
私も今年から入った新米の先生なんだ
よろしくね
ほら早く行かないと式に遅れちゃうよ！
あっ
あの時の…
あれからずっと好きだった
先生相手だから諦めようって他の子とも何度も付き合ってみたけど…

見ての通りさ
！
だからって…
あんたの事ばっか考えてるから殴られたんだぜ？
あんたのせいだろ
…っ⁉
それに…
手ェ出さねぇままこれから近くで見続けるなんて無理だしな
やっ

あんたをこのまま俺のモノにしてやるよ
んっ
ゾクッ
あっ
くちゅ
だめっ
あっ
くちゅ
生徒とこんな……っ
ぐちゅ
くぉっ
俺のキスそんなに良かったの？
?!
もう濡れてる
はっ
やぁあっ
ちっ
ちが…っ
やめて！
嫌なら大声出してもいいんだぜ？

その代わり俺はもう学校には来ない
！
そんなっ
ずるい…
大人しく俺を受け入れてくれたら
〜っ
存分に
気持ちよくしてやるよ
わぁあっ

あっはぁ
陽菜
んはっ
え？ひっ陽菜!?
んっ
で？
陽菜って処女？
こんな事してるのに〝木下先生〟なんて野暮だろ？
違うわよっ
そりゃ残念
〜っ

でも
よかった
？
ぐい
処女じゃ
きっと俺のは
入らないから
カァ
そのまま
立ってろよ
え？
んあぁっ
やぁ。
だめぇ
シャワーも
浴びてない
のに…
あぁっ
ぢゅぷっ
ぢゅる
んあぁっ
じゅっ
じゅっ

はっ
あっ
ほっ
やだっ すごく気持ち いいっ
ダメっ イっちゃう
ひあああ。
はあっ もう… ダメ
ガッ
くっ。
まだ 終わって ねぇよ
カチャ
カチャ
っ!?
はっ
と
かあっ

ああ
安心して
ちゃんと
持ってるから
男のたしなみ
そうじゃ
なくて
そんなの
入らなっ
はいはい
大丈夫だって
痛いのは…
初めだけ
だから
ホントに
おっきい…
ああっ
あああっ
すぐ良く
してやるよ

ひあっ
待って
はあっ
もっと
ゆっくり…
嬉しすぎて
我慢できねえ
だめっ
ヤーーー
あっ

ああもう
どうしよう!!

教師と生徒の
恋愛はダメだって
再認識してすぐ
あんな事になる
なんて…っ

とぼ
とぼ

あたし明日から
どんな顔して
学校に行けば…

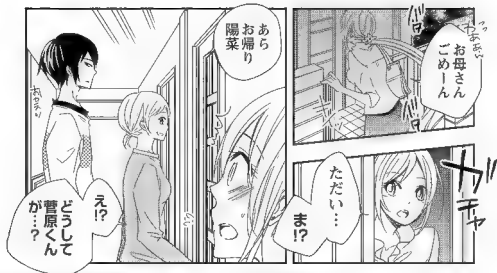
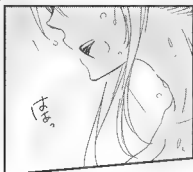
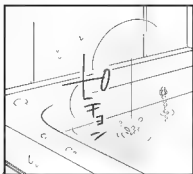
あれ？
メール!?

お母さ…

あっ

そういえば
今日 大事な
話があるって…

お母さん
ごめーん
ただい…
ま!?
あら
お帰り
陽菜
え!?
どうして
萱原くんが…?
ちょうど
よかったわ
今日から
あなたの
新しい弟になる
春兎くんよ
おっ
弟ってどういうこと

第２話

ピロ
ピチョン
信じらんないいっ
菅原くんが
弟なんて…
はぁっ
母さん
再婚するって
話したでしょ？
その再婚相手の
連れ子の
春兎くんね
今日からここに
一緒に住むから
はぁ!?

ジ
こんなカッコいい子が息子なんて母さん嬉しいわ
喜んでる場合じゃないのに!!
だってまさか…
弟になる子と…
あんなことや
こんなこと!!
あわわっ
こんな事誰にも言えないいっ
ガチャ

きゃあっ
やだっ
出てってよ
スケベ!!
ザバッ
!?
菅原くっ
私まだ
入ってるん
だから…っ
ぱっ
ん?!
陽菜の方が
スケベだな
ザバッ
カァッ

あ〜っ
気持ちいい
陽菜も
入ったら？
なっ
そんなのっ
入れるわけ
ないじゃ
ないっ
もうっ
早く出て
ってよ！
風邪
引いちゃうっ
なっ
何よ
ジロジロと…
見ないでよ
エッチ!!

あんな事した仲なんだし今更だろ？
!!
別に同意してじゃないし!!
恋人になったわけでも無いんだからっ
……
もう私出…
陽菜〜春兎くん知らない？
!?

お母さん!?
あ
ちょっと
喋らないでよ!!
見つかったらどうするのっ
ちょっ
ばっ
陽菜?
知らない!!
コンビニにでも行ったんじゃない!?
ざばっ

待ってればすぐ帰って来るよっ
そう？
っ!?
やっ
そうね
春兎くんもお風呂まだだからお湯残しといてあげてね
っ
うんっ

やっ
やめてよ!!
先生と生徒だって
問題なのに
姉弟で
こんなの
もっとダメ
でしょ！
ザバ
もう私
上がるからっ
ガッ
ぐい
ドキッ
っ
逃がさねぇよ
ボロッ

ゾワッ
ちゅ
ぬるっ
アッ
あぁっ
やめ
乳首硬くなってきたぜ
やぁあっ
そうだ
あっ
くりっ
くりっ
あっ
カシュ
カシュ
何するの？
はぁっ
すげぇ泡立ち
あっ
やっ
やだっそんなトコ…
ぬちっ
ひぁっ
じゅぷ
ぐちゅ

嫌？
ぐちゅっ
あぁっ
じゅぷ
じゅっ
違うだろ？気持ちいいんだろ？
だってココぬるぬるじゃん
ぐちゅ
やぁっ
んんっ
やぁあっ
言わないでぇ…！
んっ
ボディソープと陽菜の愛液が混ざって
すげぇトロトロ…分かる？
ぐちゅっ
じゅぷ
んあぁあっ

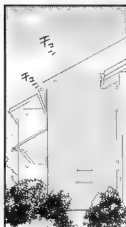
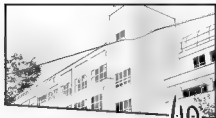
ぎゅっ
もうっ
もうやめて
菅原く…
春兎
え？
はっ
あれ？
なに勝手に
イってんの？
悪い
姉さんだな
春兎って
呼べよ
これから
姉弟に
なるのに
苗字呼び
なんて
母さん
悲しむぜ
…っ
はっ
春兎っ
弟なら姉の
言う事くらい
聞きなさいよっ
もう
やめて！
いつまた
お母さんが
来るか…

姉弟でこんな事してるのが見つかったらどうするの!?
っ
でも…
スリルがあった方が陽菜は燃えるだろ？
校舎裏でも喘ぎまくってたじゃん
やぁ
パチンッ
っ

……
ゾワッ
なぁ…
俺のこと嫌い？
っ
ごめん
ジロッ
嫌いかどうかなんて…
俺は陽菜のことがずっと欲しかった
あっ
くちゅ
初めて逢った時からずっと
やっ だめっ
ぐりっ

今中が締まった…
はっ
はぁっ
やっぱスリルあった方が感じるんじゃん
あっ
あぁっ
母さんが来ない事を祈るんだな
そんなっ
でも気持ちいいっ
ひっ
あぁぁあっ
あぁっ

チュン
チュン
眠れなかった…
俺のこと嫌い？
嫌いじゃない…
でも私達
先生と生徒で
姉弟なのよ？
おはよう陽菜
あんたも早く行かないと遅刻するわよ
ふぼよ
パタ
パタ

ほっ
春兎はもう学校行ったんだ…
職員室
パタ
パタ
パタ
ガラ
おはようございます!!
学生がホテル街に行くなんて
何を考えているんだ
しかも深夜になんて…
え?
何!?

俺達もイイ年なんで色々と興味があって…
社会見学ですよ♪
社会見学ぅ!?
あわわっ
はあっ
好奇心が旺盛なのはわかったが
だからと言って大人に心配をかけていい訳じゃないだろう?
うーん
校則で夜間の外出は禁止されているし

ああいう所は大人の場所だ
君達も大人になって自分で責任が取れるようになってから行くといい
良い事言うなぁ～
さすが平野先生
いいね
……
はい
すみませんでした
じゃあ行っていいよ
今回は普段の素行に免じて厳重注意だけだから

ぐいっ
ぐいっ
ちょっと!!
何やってんのよっ
昨日あんな事したのに
ホテル街だなんてっ
信じらんない！
何しに行ったのよっ
ひそ
ひそ
何ってそりゃ…
ニヤッ
ぎゃーっ
やっぱ言わなくていい!!
あせ
あせ
やぁぁっ
言わないでっ

もっ
こっち一晩中あんたの事を考えて眠れなかったっていうのにーー！
げほっ
げほっ
何それすげぇ嬉しいんだけど
でも先生慌てすぎ
しれっ
げほっ
スッ
飲む？
ありがと
げほっ
……
ニッ
ゴッ
ゴッ

俺達ちゃんと反省したんで戻りま〜す！
あっ ちょっと!!
もうっ
キーンコーン
カーンコーン
あっ
ヤバイ 私も教室に行かなくちゃ
バタバタ
バタッ

じゃあ…
5行目から
山田くん
読んで

はい

ガタ

くらっ

はぁ

はっ

あれ…？
おかしいな

ドクン

はっ

何だか
身体がっ

ドクン

ずくっ

アソコが
熱いっ

ずくっ

先生？
読み終わり
ましたけど…

ガタ

ガタッ

ザワ
静かに！皆は自習してて
ザワ
ぼやっ
先生大丈夫？
俺が保健室連れてくから…
立てる？
うん…
ガラー
保健室
ラッ
っ
ギシッ
私っどうしちゃったんだろ

大丈夫か？陽菜
スッ
ゾクッ
ビクッ
やだっ触られただけで感じちゃうっ
ぞく
ぞく
ん？
春兎っどうしよう…
はぁっ
あっ
はぁ
身体が熱いのっ
助けて…っ
はぁっ

第３話

保健室
はあっ
はっ
春兎っ
もぞっ
あっ
ずくんっ
はあっ
春兎
ゾクッ
熱いッ
私本当にどうしちゃったんだろ…
触って欲しくて
アソコが……っ
ずくんっ
やあああっ
凄い効果だな
実はさっき陽菜が飲んだお茶に媚薬を混ぜておいたんだ

身体が熱くて
ずる
ゼロ
ゼク
!?
はぁ
疼いて仕方ないんだろ？
最近あんた怒ってばっかだったから
もっと俺の言う事を聞くように…
俺を求めるように…と思って
ゼロ
ゼク
はっ

ひどいっ
そんな事で媚薬なんて…
キッ
何？まだ足りない？
すっ
ふっ
仕方ないな
何するの⁉
やだっ
きゅっ
媚薬を追加してやるよ
素直じゃない姉さんにはお仕置きだ
ちゅっ

LOVE LO
はっ
はっ
ぐちゅ
ちゅしっ
はぁっ
あっ
ぬるっ
あっ
グッ
ぐちゅ
はっ
やめてっ
ちゅくっ
っ
やめて
いいの？
違うだろ
触って欲しい
んだろ？
かあぁっ
あっ
あっ
ぐちゅ
ああっ
おちゅっ

すげぇ グチュ グチュ
音聞こえるだろ？
手っ解いてぇ!!
だぁめ！
残念そう
さぁどうして欲しい？

ちゃんとおねだりしないとずっとこのままだぜ？
熱いッやだっ
ずくっ
自分の身体じゃないみたいっ
すっ
じゅわっ
春兎っ
助けて…ッ
それじゃあどうして欲しいのか分かんねぇよ

春兎がっ
はっ
はあっ
はっ
やぁあっ
春兎が欲しいの!!
春兎の大っきいのを私の中にちょうだいっ!!
ずく
きゅん
ずくっ
よく言えました
俺の事嫌い?
ひあぁっ
早く…っ
でももう一つ聞かせて?
はっ
あっ
きっ

嫌い…じゃないっ
はぁ
好きかは…まだっよく分からないけど…
んっ
はっ
春兎も
はぁ
春兎とのエッチも…嫌じゃない…っ
はぁ
!
今はそれでもいいか
じゃあ
ご褒美
ぬるっ
ひあっ
するっ
ゾクッ

ひぁあっ
ダメェェ
もう
イッちゃうっ
ひあああぁっ
じゅるる。
まだまだ
物欲しそう
だな
春兎っ
早く…
…もっと
もっと
グチャグチャに
してぇ……！
その言葉
後悔すん
なよ？

またっ
だってぇ!!
入れただけでまたイクとかっどんだけ淫乱なんだよ!
しかも腰動いてるぜ?
止まらないいっ

気持ちいいっ
ずぷ
ずぶ
ずぷっ
ひあああぁっ
はっ
春兎っ
陽菜
ずぷっ
落ち着いたか？

LOVE LOTION
今度は家でも使ってやるよ
ぱっ
結構よ!!
それにしても凄かったな
それにっ
もう二度といかがわしい店には行っちゃダメよ!
分かりましたよお姉さん
ちゅ
んもう
んっ
ガチャッ

キーンコーン
職員室
はあっ
まったく何て物を買ってくるのかしら…
凄かったけど…
凄すぎて怖いわ
はあっ
ガバッ
お疲れですね
平野先生！
倒れたそうですけど大丈夫ですか？
ちょっと貧血気味だっただけなので
もう大丈夫ですよ！

学食でお昼ご飯をいっぱい食べたのでもう元通りです!
じゃあ夕飯はもっと良いものをご馳走しますよ
ぎゅ
え?
ぐいっ
わあっ
木下先生は元気に笑ってる方が素敵です
僕はそっちの方が好きですし
っ
へ!?

えっ
あのっ
でも…
どうしたんだろう私…
憧れの平野先生からのお誘いなのに
嬉しくない？
どうして…
どうして春兎を思い出すの!?
かぁっ
ごめんなさいっ
ガバッ

まっ

まだ疲れてるみたいなので
今日は早く帰ります！

すみません…

パタパタ

パタパタ

……

パタパタ

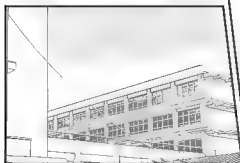
ザワザワ

ザワザワ

これっマジ？

合成？

校長室
どういう事か説明してくれますか？
誤解なんです！
私達が恋仲だなんて……
そんな訳…
それで仲良さ気に見えたんじゃないですかね！
先日お伝えしたように
親同士の再婚で姉弟になりましたけど…

ね！
仲良さ気に見えて勘違いしたんだと思います…
そうですか…
はぁ
何とか分かってもらえてよかったわ…
ホントの事がバレたら
私の教師生命終わりよっ
ザッ
ザッ
でも一体誰がこんな事…
熱愛発覚！
先生と生徒が
保健室デー

誰か知りたいですか？
その貼紙の犯人…
誰⁉
あなた…一年の清水さん…？
犯人を知ってるの⁉
知ってるも何も私ですけど？
なっ
昨日菅原先輩が保健室に行くのが見えたから
追ってみたら…

中で2人がエッチしてるのを
見ちゃったんですよね～
しかも放課後に先輩を尾行して
そのままそこにいたら
つ!?
先生も同じ家に帰って来るし…
先生と生徒が
一緒に住んでて
っ
しかもエッチしてるなんていいんですか?

あっ
今回は誤解だって思ってもらえたみたいですけど
この写真を見たら
さっ
もう言い逃れ出来ませんね
やめて!!
何でっ
何でこんな事するの!?

何で？
ばっ
だって私…
この学校に入ってずっと
菅原先輩が好きだったんですもの！
年増の先生なんてやめて
私を選んで下さい！先輩…
俺はっ
違うわ!!
私と春兎は本当に付き合ってないっ

親同士が再婚して姉弟になっただけで！

無理やり抱かれただけで…っ

陽菜!?

春兎の事なんて私は何とも思ってないんだから!!

っ

生徒2人で仲良くすればいいじゃないっ

私を巻き込まないで！

お前っ

それ本気で言ってんのか!?

本気よ!!
ほっ
そうかよ
チッ
残念ね
おばさん
あっ
っ
どうして…
どうして
こんな
事に…っ
っ
ふっ
っっ

裏ドS男子
～淫らな義姉のしつけ方～
1

著者　えい吉

発行　株式会社 アイプロダクション